

杵築市出身の作曲家・菊本哲也と杵築市在住の阿部尚子による、故郷をうたった短歌歌集「櫻の詩」を発行することとなりました。

これを記念し、CD録音に携わったソプラノ吉村華織と、大分で活躍するピアニスト河野聡美を迎えて、「櫻の詩」を初演いたします。一部には春らしい曲、なじみのある曲を集めた歌曲も演奏します。阿部尚子のお話も交えながら、楽しいひと時を過ごしていただければ幸いです。



### 菊本哲也 Tetsuya Kikumoto／作曲

1938年杵築市出身、東京都在住、県立杵築高校、東京藝術大学音楽学部作曲科卒、作曲を長谷川良夫、ピアノを谷康子、声楽を加古三枝子に師事。1963年～2008年東京女子体育大学勤務、東京女子体育大学名誉教授。著書：「動きのリズムとピアノ伴奏」ほか(明治図書)「新しい音楽通論」、「基礎楽典」ほか著書多数。体操女子床(ミュンヘンオリンピック日本規定問題音楽ほか)、新体操(世界選手権バルナ大会日本初参加)そのほか業間体操(NTTほか)など動きの音楽を中心に全国的に活動。2009年以後作曲を再開、2010年の《奈多海岸》をはじめ、短歌の作曲に取り組む。2017年11月には、秋の叙勲で瑞宝中綬章を受賞。

### 阿部尚子 Naoko Abe／短歌

1952年大分県出身、杵築市在住。

1992年作歌を始む・「朱竹」入会、2006年武都岐短歌会・きつき城下町短歌会創立。

2008年第44回大分合同新聞社読者文芸短歌の部年間賞、2008年第一歌集「ジュラ紀の風」出版 砂子屋書房(平成21年度日本歌人クラブ九州ブロック優良歌集賞受賞)。

2010年第11回全国万葉短文学コンクール最優秀賞受賞。2012年第18回「与謝野晶子短歌文学賞」・産経新聞社、2013年第4回角川全国短歌大賞 大分合同新聞社賞。2014年第8回白蓮賞短歌コンクール優秀賞。

現在、大分県歌人クラブ副会長・日本歌人クラブ大分県幹事・朱竹短歌会運営委員・現代歌人集會会員・きつき城下町短歌会会長・第33回国民文化祭おおいだ2018「水の森短歌大会」選者。

### 吉村華織 Kaori Yoshimura／ソプラノ

山口県出身、2011年、杵築市へお嫁に来る。神奈川県在住。

広島大学教育学部音楽科声楽専攻卒業。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了。修了時優秀賞受賞。

2011年ミラノへ留学。2013年第9回藤沢オペラコンクール三位。2006年第75回、2010年第79回、2012年第81回

日本音楽コンクール入選。2010年第21回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門奨励賞受賞。山口県総合芸術祭ソリスト。

2009年パルコ劇場、寺山修司の戯曲「中国の不思議な役人」では、演出家・白井晃氏に見いだされ、歌う娼婦「梨貞」役を演じた。歌劇「フィガロの結婚」バルバリーナ役でオペラデビューし、オペラや舞台に出演するほか、宗教音楽においてもソリストとして出演。コンサート、リサイタルにおいても東京を中心に各地にて活動している。これまでに奥田誠、故平野忠彦、リナ・ヴァスタ、N.ザニーニの各氏に師事。

二期会会員。東京室内歌劇場会員。ホームページ<http://yoshimurakaori.jimdo.com>

### 河野聡美 Satomi Kawano／ピアノ

桐朋学園大学、及びベルリン国立芸術大学卒業。

ピアノを天野頼子、村上信子、中島利恵、高柳朗子各氏に師事。ドイツ留学中は、ピアノ・室内楽ともにゲオルク・サバ氏に師事。現在は、後進の指導をすかたわら、ソロや室内楽、伴奏等での活動を行う。

大分県立芸術緑丘高等学校非常勤講師。